

**第 67 回日本心血管インターベンション治療学会
関東甲信越支部 幹事会議事録**

日 時：2026 年 5 月 9 日（土）9：30～10：20

会 場：大手町サンケイプラザ 2F『201+2』（第7会場）

出席者：上妻 謙（支部長）

阿古潤哉、足利貴志、阿部七郎、安齋均、伊苺裕二、石井秀樹、小川崇之、緒方信彦、佐藤明、菅野晃靖、高橋稔、武安法之、田中信大、松村昭彦、宮下裕介、矢嶋純二、森田有紀子、伊藤良明（第 66 回会長）、北原秀喜（第 67 回会長代理）、新家俊郎（第 68 回会長）、高橋佐枝子（第 70 回会長）、山口淳一（第 71 回会長）

村澤孝秀、武井和明、石橋智通（メディカルスタッフ部会）

名誉会員：本江純子

【以上 27 名】

議 題：

1. 第 67 回地方会会長挨拶（藤本善英先生 / 会長代理 千葉大学 北原秀喜 先生）

会長代理の北原先生より、現時点の参加者数が例年ベースであること、また、予算についても例年通りの集客があれば、黒字収支になるとの報告がなされた。

2. 運営委員について

① 新運営委員

【報告】

2024 年 10 月～2025 年 9 月の推薦者について、この後行われる運営委員会にて出席を確認し正式に承認となることが報告された。

1	飯塚 大介	千葉西総合病院
2	皆月 隼	東京大学医学部附属病院
3	新村 大輔	横浜市立市民病院
4	飯田 大輔	イムス葛飾ハートセンター
5	石原 龍馬	河北総合病院
6	サキヤ サデイーブ	河北総合病院
7	大場 祐輔	自治医科大学
8	土井 信一郎	順天堂大学医学部附属順天堂医院
9	陣内 博行	自治医科大学附属さいたま医療センター
10	山本 慶	自治医科大学附属さいたま医療センター
11	土山 高明	東京都立広尾病院
12	岡田 興造	横浜市立大学附属市民総合医療センター
13	大塚 文之	横浜市立大学医学部
14	小徳 のぞみ	聖マリアンナ医科大学
15	中西 啓太	つくばセントラル病院
16	谷地 織	東京新宿メディカルセンター
17	桑田 真吾	聖マリアンナ医科大学
18	辻田 裕昭	昭和医科大学医学部
19	小嶋 啓介	日本大学医学部附属板橋病院
20	深町 大介	日本大学病院
21	小林 範弘	済生会横浜市東部病院

② 連続欠席者について

【報告】

連続欠席の先生方について、報告がなされた。

③ 発表がない施設について

【報告】

※直近3年以内に発表が無い施設

- ・社会医療法人新潟勤労者医療協会 下越病院
- ・しらすきクリニック
- ・茨城県厚生農業協同組合連合会 JAとりで総合医療センター
- ・東京日暮里たんのハートクリニック
- ・羽生総合病院

④ 異動報告について

【報告】

運営委員会出欠確認の際に7名の委員の異動が確認された。

⑤ 退任について

【承認】

申し出があった9名と2025年度定年2名について審議された。

- | | | |
|---|-------|---------------|
| 1 | 大塚 雅人 | 荻窪病院 |
| 2 | 河村 朗夫 | 国際医療福祉大学医学部 |
| 3 | 北林 浩 | 伊那中央病院 |
| 4 | 佐野 剛一 | ららぽーと新三郷内科小児科 |
| 5 | 中村 智弘 | さいたま市民医療センター |
| 6 | 新居 秀郎 | 筑波記念病院 |
| 7 | 細川 丈志 | 葛西昌医会病院 |
| 8 | 水村 泰祐 | 河北総合病院 |
| 9 | 米山 暁 | 関越病院 |

●2025年度定年 籠島 充（上越総合病院）／木村 一生（西埼玉中央病院）

⑥ 運営委員推薦について

【承認】

2025年10月以降の推薦9名について審議された。

- | | | |
|---|--------|----------------------|
| 1 | 星 智也 | 国際医療福祉大学成田病院 |
| 2 | 西山 茂樹 | 埼玉石心会病院 |
| 3 | 武中 宏樹 | SUBARU 健康保険組合 太田記念病院 |
| 4 | 戸倉 通彰 | 足利赤十字病院 |
| 5 | 渡部 浩明 | 筑波大学 |
| 6 | 那須野 暁光 | 立川総合病院 |
| 7 | 大塚 龍彦 | 板橋中央総合病院 |
| 8 | 沼尾 嘉美 | 板橋中央総合病院 |
| 9 | 小田切 久八 | 伊那中央病院 |

3. 第66回（2025/10/10-11 会長：伊藤良明先生）地方会会計報告

参加人数が多く、ライブの完全WEB化や機材費等のコストを抑えたことにより、黒字収支であることが報告された。また、余剰金の使用について検討を行ったが、今後の地方会運営がさらに厳しくなる可能性があることより、そのまま計上されたことについても説明がなされた。

また、開催に際し、皆様のご協力により、成功裏に終了ことに対してのお礼を述べられた。

4. 2026年度予算・2025年度支部会計の承認について 【承認】

5. 地方会予算（第69回）の承認について 【承認】

6. 今後の地方会開催について 【報告】

- 第68回（2026/10/9-10 会長：新家俊郎先生）
→東京ライブはWEB、EVT・PCI・SHDの一部を昭和医科大学、TAVI・M-TEERの一部を湘南鎌倉総合病院からの中継を予定している。
地方会は企画セッションを作りすぎると入らないため2つ程度としている。
① CT-Guided PCI ② 病理とイメージングの融合

・昭和医科大学にライブ配信の映像システムが備え付けられていないため、2700～2800万の予算を上げているが、共催企業セッションは入る目途がついており、3000万程度の総収入の見込みである。
若い先生に参加していただくため、教育的なプログラムを企画できるよう鋭意準備中であることが報告された。
- 第69回（2027/5/8 会長：高橋佐枝子先生）
→先生方の協力をいただいて、座長は全員女性にする検討をおこなっていることが報告された。
- 第70回（2027/10/8-9 会長：山口淳一先生）
→秋季大会をされた伊藤先生、新家先生に相談しながら、若い先生中心に活気ある地方会を目指して準備される旨、報告された。
- 第71回（2028春 会長：石井秀樹先生）
- 第72回（2028秋 会長：日比潔先生）
- 第73回（2029春）
→大会長について審議されたが、次回の幹事会にて選出が少ない新潟・長野より大会長の選出を行う方針となった。

7. 規約改定について 【承認】

昨年度に運営委員の定員を増員、定年・施設あたりの3名までと人数を決め、幅広く運営委員になっていただく方針であることが説明された。（定年規定は本会に準じて65歳未満）
また、既に3名以上の施設については退任する必要はないが、新規の推薦は差し控えていただくよう周知された。

改定前	改定後
第4章 役員	
第6条 本支部は次の役員をおく。 (1) 支部長 1名 (2) 副支部長 1名 (支部長の任意によりおくことができる) (3) 幹事 22名以内 (4) 運営委員 100名以上 280名以内 (5) 会計監事 2名	第6条 本支部は次の役員をおく。 (1) 支部長 1名 (2) 副支部長 1名 (支部長の任意によりおくことができる) (3) 幹事 22名以内 (4) 運営委員 100名以上 280名以内 (1施設につき3名以内) (5) 会計監事 2名

参考；3名以上の施設

4名 自治医科大学附属さいたま医療センター 東京蒲田病院 横須賀市立総合医療センター	
3名 昭和医科大学藤が丘病院 千葉西総合病院 東京都済生会中央病院 東京ベイ・浦安市川医療センター 東京山手メディカルセンター	東邦大学医療センター大橋病院 虎の門病院 日本医科大学付属病院 三井記念病院

8. メディカルスタッフ部会報告

①部会メンバーの変更について

【承認】

会則では再任を妨げないようになっており、会議に参加しなくても再任されているのが現状である。現在 29 名、40 名までを目途に地域、職種で限定されている枠を超えて、やる気のあるメンバーを増員することについて提案がなされた。

→今後は増員の方針とする。また、出席に関する規約（運営委員と同様に 4 回連続欠席の場合は退任となる）を組み込む方針となった。

②タスクシフト研修の報告について（3/1 テルモメディカルプラネックスにて）

【報告】

（参加者）16 名の参加者に限定して、1 チーム 4 名のグループ制として、対応した。

（講師）高橋佐枝子先生と 4 名のメディカルスタッフ

（内容）清潔介助しながら GW、GC 操作を 1st オペレーターの体験と、必要な 2nd の知識を学んでいただく。

修了時アンケートを行ったところ、自信がついたのがほとんど、満足度の平均は 4.7 点と好評であったため、今後は年 1～2 回程度開催する方針である。

→西日本は神戸に同様の施設があるため、本部管轄にて同日程で行う方針となった。

③助成金を支給した研究会（2025.10～2026.4）

【報告】

- ・第 8 回千葉メディカルスタッフ研究会（2/11）
- ・第 20 回/21 回 栃木県カテーテル室スタッフ研究会（5/30、26 年秋）

9. 本部からの報告

● タスクシフト/シェアについて

→全国 7 割の施設がタスクシフトしてほしいという結果がでている。法改正が必要なため、時間はかかるが、前向きに進んでいることが報告された。

● シミュレーション小委員会の立ち上げについて

→循環器へ進む医師を増やすための活動として、シミュレーション教育が重要となっており、小川崇之先生を委員長として委員会を立ち上げた。

・日本循環器学会とも一緒に活動する方針であり、日本循環器学会のサマースクールが 6/13 午前 JCS 関東地方会に開催予定である。

（対象は学生と研修医、カテについては血管モデル 2 台を導入して講師 2 名制で行う。）

● 専門医認定医制度審議会について（委員長 石井秀樹先生）

→4/19 専門医試験は例年並みの受験者（約 200 名）であり、現在は合否判定中である。

・注意事項として、実技試験は前年の 9～12 月が範囲となるが、その時期 J-PCI に登録していない（または承認済までされていない）事例がある。そのほか、施設更新にも影響するため、留意していただきたい。

また、Type A のみだしてくる受験者がいるが、対象は B1 以上、CT0 は極力 NG、3 例すべて ACS のみではなく、待機的症例もいれてほしい旨、周知された。

・インターベンション必携については、校正と許諾に費用がかかったが、まもなく完成することが報告された。

● J-0sler について

→必要な手技を 400 から半分以下に減らした内容で進む予定ではあるため、今年の専攻医は緩和された新しい基準でできることが周知された。

10. その他

● 預金口座について

→預金保護について懸念する発言があり、本会と相談することとなった。

以上